

川崎市住宅基本計画改定業務等

川崎市では、2011年度から住宅政策審議会の運営補支援を行っている。2018年度は、川崎市住宅基本計画に位置づけられた施策の展開について、子育て世帯の市外転出に関する調査や健康寿命延伸に資する住宅施策の検討等の基礎調査を行った。住まいの断熱化が健康寿命の延伸に資することを踏まえ、温熱環境改善の普及啓発として、断熱化DIYワークショップを企画・実施した。

2019年度は、市営住宅の政策的役割を明確化するため、住宅困窮者に対する公的支援策を整理するとともに、市営住宅の代替可能性について検討した。また、市営住宅入居世帯のデータ整理や今後の入居世帯の推移のシミュレーションも実施した。

また、高齢者等の住み慣れた地域で住み続けたいというニーズに対応するため、数戸単位の供給も可能な高齢者向け住宅の事業展開の可能性を検討するなど、既存制度の枠組みにとられない、川崎市独自の高齢者向け住宅モデルのあり方について提案を行った。

発注者	川崎市
工期	2011年度～